

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所, No.30, 2004.9 : 3-8
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4207
Rights	

SERVE

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

阿久戸光晴 あくど・みつはる

1951年東京都生まれ。1973年一橋大学社会学部卒。75年同大学法学部卒。同年住友化学工業株式会社入社。1985～90年、学校法人聖学院理事長秘書。1990年東京神学大学神学修士課程修了。キリスト教社会倫理学専攻。1990～95年聖学院アトランタ国際学校事務局長兼聖書科教諭。その間、1990～95年ジョージア州エモリー大学大学院にて「教会と国家の関係論」を学ぶ。1993～94年同州ジョージア大学大学院にて、アメリカ憲法修正条項を研究。1995年より現在、聖学院大学政治経済学部教授、大学宗教主任(2003年3月31日まで)。2000年より副学長、2003年7月より学長代行。2003年12月1日付で学長。学校法人聖学院理事、米国法人聖学院アトランタ国際学校理事。日本基督教団滝野川教会協力牧師、キリスト教文化学会理事長、上市市情報公開・個人情報保護運営審議会会長。

〔著書〕『新しき生』、『近代デモクラシー思想の根源——「人権の淵源」および「教会と国家の関係」の歴史的考察』(以上聖学院ゼネラルサービス)、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』(共著・聖学院大学出版会)。

速水 優 はやみ・まさる

1925年生まれ。1947年東京商科大学(現一橋大学)卒。1947年日本銀行入行後、大分支店長、ロンドン駐在参事、外国局長、名古屋支店長等を経て、1978年理事。その後商社の社長、会長を歴任し、1991年経済同友会代表幹事。1998年日本銀行総裁に就任し2003年3月任期満了により退任。現在、学校法人聖学院名誉理事長・理事、聖学院大学総合研究所全学教授の他、(財)歴史民族博物館振興会理事長、東京女子大学評議員、東洋英和女学院評議員を兼任。

〔著書〕『変動相場制10年——海図なき航海——』(東洋経済新報社、1982年)、『土の器』(NTT出版、1991年)、『円が尊敬される日』(東洋経済新報社、1995年)、『中央銀行の独立性と金融政策』(東洋経済新報社、2004年)。

眞野 輝彦 まの・てるひこ

1934年生まれ。1956年一橋大学経済学部卒。同年東京銀行入行。1985年取締役、1996年合併により東京三菱銀行参与。1999年東京リサーチインターナショナル参与。2000年より現在、聖学院大学大学院特任教授。日本商工会議所・東京商工会議所政策委員会委員。国策研究会評議

員会議長。日本国際フォーラム政策委員。International Club of Bank Economists会員。国際通貨研究所評議委員。サンケイ新聞「正論」、The Japan Times、執筆登録メンバー。

〔著書〕『現代の国際金融』（有斐閣、1983年）、『YENの実力』（一橋選書、1989年）、『日本にもうカネはない』（文芸春秋、1990年）、『日本主義経済への警告』（時事通信社、1990年）、『1992年の読み方 日本と世界』（東洋経済新報社、1991年）、『真の豊かさの世界貢献』（三田出版会、1992年）、『円高と変わる経済』（日本食糧新聞社、1993年）、『日本の論点 96』（=執筆団、文芸春秋編、1995年）、『日本の論点 99』（=執筆団、文芸春秋編、1999年）、その他多数。

大木 英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ。1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学（ニューヨーク）ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。東京神学大学名誉教授。現在、聖学院大学大学院教授。学校法人聖学院院長・理事長。聖学院大学総合研究所長。

〔著書〕『ブルンナー 人と思想』（日本基督教団出版部、1962年）、『ピューリタニズムの倫理思想』（新教出版社、1966年）、『ピューリタン——近代化の精神構造』（中央公論社、1968年）、『終末論的考察』（中央公論社、1970年）、『終末論』（紀伊國屋書店、1972年）、『現代人のユグヤ人化——現代文明論集』（白水社、1976年）、『キリスト入門』（ヨルダン社、1976年）、『歴史神学と社会倫理』（ヨルダン社、1979年）、『偶然性と宗教』（ヨルダン社、1981年）、『バルト』（講談社、1984年）、『日本の神学』（共著、ヨルダン社、1989年）、『主の祈り』（聖学院大学出版会、1990年）、『新しい共同体の倫理学 基礎編』（上・下、教文館、1994年）、『日本は変わるか——戦後日本の終末論的考察』（共著、教文館、1996年）、『ローマ人への手紙——現代へのメッセージ』（教文館、1998年）、『宇魂和才の説——21世紀の教育理念』（聖学院大学出版会、1999年）、『時の徴——第三ミレニアムとグローバリゼーション』（教文館、2000年）、『組織神学序説——プロレゴメナとしての聖書論』（教文館、2003年）、その他。

朱 建栄 しゅ・けんえい

1957年生まれ。1981年、中国華東師範大学外国語学部日本文学科卒。1984年、上海国際問題研究所研究員。上海国際問題研究所付属大学院修士号（国際政治）取得。1986年来日、総合研究開発機構（NIRA）客員研究員。京都大学東南アジア研究センター客員助教授などをへて1992年、東洋女子短期大学助教授。学習院大学法学部で博士号（政治学）取得。1994年、東洋学園大学助教授。1996年、同大学教授。2002年4～9月、米ジョージ・ワシントン大学アジアセンター客員研究員。日本現代中国学会理事。社団法人中国研究所理事。

〔著書〕『毛沢東の朝鮮戦争』、『江沢民の中国』、『江沢民時代のグレーター・チャイナ』、『朱鎔基の中国改革』、『中国 2020年への道』、『毛沢東のベトナム戦争』、『中国 第三の革命』など多数。

康 仁 徳 かん・いんどく

1932年生まれ。1968年韓国外国語大学院修了。政治学博士。韓国中央情報部中共・ソ連分析官、北韓課長、海外情報局長、北韓局長兼南北調節委員などを歴任。1979年(財)極東問題研究所創立、同所長。1998年金大中政権の統一部長官。1999年7月から聖学院大学総合研究所客員教授。

〔著書〕『共産圏総覧』、『北韓全書』、『共産主義と統一戦術』、『言論・政治・イデオロギー』、『北朝鮮問題をどう解くか』(編著)など。

加藤 洋一 かとう・よういち

1956年生まれ。1981年朝日新聞社入社。金沢支局、横浜支局員を経て1987年、政治部員。1998年4月から2001年4月までワシントン特派員。同年から政治部次長。2003年5月から外報部次長。

小田川 興 おだがわ・こう

1942年生まれ。1965年早稲田大学哲学科卒。朝日新聞社入社。ソウル支局長、外報部編集委員などを経て、2002年退社。現在、聖学院大学総合研究所客員教授。日本記者クラブ会員。

〔著書〕『被爆韓国人』、『朝鮮半島・平和の構図』、『北朝鮮——その実像と軌跡』、『日朝交渉——課題と展望』、『日本のジャーナリズムとは何か』(共著)、『北朝鮮問題をどう解くか』(編著)など。

広渡 清吾 ひろわたり・せいご

1945年生まれ。京都大学法学部卒。東京大学社会科学研究所教授、専攻・ドイツ法、比較法社会論。1987年ドイツ・ベルリン自由大学客員講師、1993年～94年ドイツ・ミュンヘン大学客員教授、1998年～2001年東京大学社会科学研究所長、2001年～2002年東京大学総長特別補佐、2002年～2003年東京大学副学長・東京大学附属図書館長。

〔著書〕『法律からの自由と逃避——ヴァイマル共和制下の私法学』(日本評論社、1986年)、『借地借家制度の比較研究——欧米と日本』(共編著、東京大学出版会、1987年)、『二つの戦後社会と法の間——日本と西ドイツ』(大蔵省出版局、1990年)、『外国法——イギリス・ドイツの社会と法』(共著、岩波書店、1991年)、『現代の都市法——ドイツ・フランス・イギリス・アメリカ』(共編著、東京大学出版会、1993年)、『戦争責任・戦後責任——日本とドイツはどう違うか』(共著、朝日選書、1994年)、『統一ドイツの法変動——統一の一つの決算』(有信堂、1996年)、『法曹の比較法社会学』(編著・東京大学出版会、2003年)、『大学の倫理』(共編著、東京大学出版会、2003年)など。

藤掛 明 ふじかけ・あきら

1982年大東文化大学文学部卒。法務省に入省し、横浜少年鑑別所を皮切りに、大阪、浦和、八王子、東京の各少年鑑別所に勤務。その後神奈川県医療少年院統括専門官、府中刑務所分類審議室上席統括矯正処遇官、富山少年鑑別所首席専門官を歴任。2003年4月より聖学院大学総合研究所専任講師。

この間、93年に臨床心理士資格を取得。立教大学および同大学院、徳島文理大学大学院非常勤講師を兼ねる。日本犯罪心理学会理事、日本描画テスト描画療法学会評議員。東京臨床心理士会研修委員長。牧会ジャーナル編集委員。

〔著書〕『非行カウンセリング入門』、『描画テスト描画療法入門』、『現代ひたくり事情』（共著）、『キリスト者の職業と召し』（共著）など。

平山 正実 ひらやま・まさみ

1965年横浜市立大学医学部卒。医学博士。精神保健指定医。69年東京都教職員互助会三楽病院精神科医長。72年精神医学教室講師。82年自治医科大学哲学教室助教授。93年より現在、東洋英和女学院大学人間科学部教授。同年より現在、北千住旭クリニック院長。2002年10月より聖学院大学総合研究所客員教授として「カウンセリング研究センター」を立ち上げる。立教大学、星薬科大学、東京キリスト教学園、東京医科歯科大学等の非常勤講師を兼ねる。

〔著書〕『心の病の治療法が判る本』、『グリーンケアの行動科学』（共著）、『死生学がわかる』（共著）、『いのちの哲学』（共著）、『精神保健学』（共著）ほか多数。

増井志津代 ますい・しつよ

上智大学文学部英文学科教授。1978年同志社大学文学部英文学科卒。1982年ホイトン・カレッジ大学院神学部修士課程（MA）、1984年マサチューセッツ大学アマースト校大学院英文学部修士課程（MA）修了。1985年四国学院大学文学部英文学科専任講師、1988年同助教授。1996年ボストン大学大学院アメリカ・ニューイングランド研究科博士課程修了（PhD）。1995年東京基督教大学神学部助教授。1998年上智大学文学部英文学科助教授を経て、2004年より現職。2004年ハーヴァード大学客員研究員。

〔主要論文〕*Reading Hawthorne in the Context of American Popular Religion* (PhD論文)、「第一次大覚醒運動と環大西洋・植民地間交流」（上智大学アメリカ・カナダ研究所『アメリカ・カナダ研究』No. 20）、「ジョージ・ホイットフィールドと環大西洋福音主義文化の成立」（同、No. 19）、他。

松谷 好明 まつたに・よしあき

1944年福島県生まれ。一橋大学社会学部卒。1970年神戸改革派神学校に学んだ後（3年中退）、英国トリニティ・カレッジ・ブリストル神学校ならびにブリストル大学大学院（Dip.Th.）に学ぶ。現在、聖学院大学総合研究所特任助教授（ピューリタニズム研究室長）。

〔著書〕『ウェストミンスター神学会議の成立』、『ウェストミンスター神学会議議事録抄』、『ウェストミンスター神学会議——その構造化』（いずれも、一麦出版社）。

〔訳書〕トマス・ブラウン『スコットランドにおける教会と国家』、『ウェストミンスター信仰告白と今日の教会』（いずれも、すぐ書房）、『ウェストミンスター信仰規準』（一麦出版社）、ポール・ヘルム『カルヴァンとカルヴァン主義者たち』（聖学院大学出版会）、ウィリアム・スティール『牧師の仕事』（いのちのこば社）、トム・ウィルキンソン『ウェストミンスター信仰告白註解』上, 下（一麦出版社）。

佐藤 貴史 さとう・たかし

1976年生まれ。聖学院大学大学院政治政策学研究科修士課程修了。現在、聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程在籍。

〔論文〕「ハンナ・アーレントにおけるデモクラシーの可能性——ヨーロッパとアメリカの間で——」（『聖学院大学総合研究所紀要』24号, 2003年）, 「フランツ・ローゼンツヴァイクの観念論批判——「全体性の観念」をめぐる——」（『聖学院大学総合研究所紀要』28号, 2004年）。

松本 靖子 まつもと・やすこ

2004年3月, 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士前期課程修了。日本基督教団朝霞教会会員。

菅原 美帆 すがわら・みほ

2004年3月聖学院大学大学院政治政策学研究科修士課程修了。

メラン・サベット Mehran Sabet

1956年生まれ。1979年テヘラン大学卒。1981年サン・ディエゴ，ナショナル大学卒。M. B. A取得。現在，聖学院大学総合研究所専任講師，SLI所長。

〔論文〕 Evaluating and Choosing a Textbook 他。

〔著書〕 *Speak Out*, Seigakuin General Service, 2001.

森田 美千代 もりた・みちよ

1946年生まれ。国際基督教大学大学院修士課程教育研究科修了（教育学修士）。ドルー大学神学部 Master of Theological Studies 修了（神学修士）。ドルー大学大学院博士課程アメリカの宗教と文化専攻修了（哲学博士）。現在，聖学院大学総合研究所助教授。

〔論文〕 “Horace Bushnell on Women in Family, Church, and Nation in Nineteenth Century Christian America.” Ann Arbor: University Microfilms International, 1999. ほか。